

# Yes, We Can.

先進のベストソリューションをいつも

ありがとう通信

Oct.  
2018

vol. **46**

## エレックスの技②

### 交流電位差計方式による 直読式接地抵抗測定

接地は数多くの役割を持っており、大地と回路を接続することで電位が安定するため、電気機器の外箱、電気回路の中性点、電子機器や通信機器類の基準電位が確保できます。接地工事にはA種からD種の4種類があり、条件により、それぞれ接地抵抗値が定められています。土壌の様子、接地極付近での掘削、埋設極の状態により接地抵抗値は変化していきます。エレックス極東では交流電位差計方式を採用し、外部の電気設備や電車軌道の漏れ電流などによる誘導ノイズの影響を受けない為、正確な測定を行なっています。

特集

電力小売全面自由化から2年、  
現在は…